

読み終えたあなたは必ず「圧倒されているはず」
小説の新たな可能性を示した本書は
まさに「不行外れのデビュー作」と言えます。

本年度「最重要翻訳小説」のひとつとして
全ての文学ファンにおすすめいたします
後悔はさせません。

HHhH

プラハ、1942年

ローラン・ベネ
高橋啓訳